

平成 29 年度 (社会科) 授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<p>発言する生徒に偏りがある。</p> <p>社会的事象に対する生徒の知識にばらつきがある。</p> <p>内容の理解に差がある。</p>	<p>付箋やメモなどを利用し、全員が自分の意見を発表する形態をとるようにする。また班での話し合いなども取り入れる。</p> <p>授業の導入時などに生徒の興味関心が高い事象を取り上げ、生徒の興味関心を引き出すようにする。</p> <p>小テストなどを定期的を実施し、知識を定着させる。</p>	<p>プリントの最後に理解度を確認する項目を付け、生徒の理解度を確認しながら授業の進度を考える。</p> <p>我々の身近な問題を例に挙げて誰もが興味をもって授業に取り組めるようにする</p> <p>小テストやプリントなどは必ず答えをみんなで確認して間違いを正していく。</p>
2 年	<p>歴史に対して苦手意識をもっている生徒が多い。</p> <p>諸資料から読み取った内容を文章で表現する力に差がみられる。</p> <p>学習内容と社会的事象の関連性を捉えることがなかなかできない。</p>	<p>単発で用語を教えるのではなく、歴史の流れが理解できるような説明と板書を行う。</p> <p>資料を読み取る時間、読み取ったものを文章にまとめる時間を十分に確保する。</p> <p>授業で扱った内容に関するニュースや話題を授業で紹介し、授業内容と社会的事象の関連性に気付かせる。</p>	<p>年表に歴史用語などを記入させ、歴史の流れを整理する学習を取り入れる。</p> <p>複数の資料を照らし合わせて読み取りを行い、表現力を豊かにするような授業を組み立てる。</p> <p>授業と関連する話題が載っている新聞記事をまとめさせ、学習内容を深めるような授業を組み立てる。</p>
3 年	<p>基本的な社会用語をしっかりと覚えていない生徒が多い。</p> <p>自己の思考の結果や過程を文章にまとめる力に課題がある。</p> <p>社会的事象を諸資料から読み取る力に課題がある。</p>	<p>授業の終わりに本時の学習内容を振り返り、知識の定着を図る。</p> <p>計画的に班活動などの言語活動を取り入れ、様々な考えを1つにまとめる力が身に付くようにする。</p> <p>社会的事象に関する資料を読み取る時間をより多く設定し、読み取るためのポイントを学ぶ授業展開にする。</p>	<p>知識が身に付いていないと思われる生徒には適宜個別指導を行う。</p> <p>言語活動を充実させ、文章をまとめる機会を増やし、慣れるようにする。学習過程での思考を重視していく。</p> <p>資料活用能力が低い生徒への机間指導を丁寧に行う。理解が進んでいる生徒に対しては、要求水準を高くする。</p>

